

## 第3回石川県社会福祉会館の在り方検討委員会 議事概要

1 日 時 令和5年10月16日（月）16時から17時20分

2 場 所 石川県庁行政庁舎14階 1408会議室

3 出席委員 委員名簿参照

4 議事内容

### （1）説明事項

事務局から会議資料に基づいて説明

（社会福祉会館の在り方検討委員会の報告書案、中央児童相談所等検討ワーキンググループにおける新たな建物整備に係る検討内容の取りまとめ案（報告））

### （2）意見交換

#### 【森山委員長】

事務局から説明のあった、「報告書案」を中心にご意見をいただきたい

#### 【委員からのご意見】

- ・報告書案については、これまでの在り方検討委員会での議論を網羅し、要点を押さえたものになっている
- ・今後、整備に向けた検討が具体化していく中でも、引き続き、福祉関係団体がしっかりと関われるようにしてほしい
- ・設計に加え、建物の中で使う机や椅子などについても、利用者を意識して事務的でないものを導入するなどの配慮も必要
- ・引き続き、全国の先進事例をしっかりと勉強して、良い事例を積極的に取り入れてほしい
- ・温かみのある照明を使うといった点についても配慮してほしい
- ・会館内の配置や仕様について、人の集まるオープンなエリアと事務エリアを明確に区分するなど、利用目的や業務内容を踏まえてきめ細やかに対応することが必要
- ・障害のある方が利用しやすく、職員の健康管理にも資する昇降式の机の導入など、働く人の環境に配慮したユニバーサルな福祉の会館として発信できたらよい

- ・全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインの導入など、誰にも優しい、石川の福祉を象徴するような会館となってほしい
- ・福祉に関する人材の確保にも資する会館になってほしい
- ・福祉に関する仕事の見学や体験など、様々な方法により、この一つの会館の中で福祉をもっと身近に感じていただけるような、福祉の魅力を発信できる会館になってほしい
- ・例えば、児童福祉の問題には障害や貧困など様々な課題が関わってくることから、今後とも、社会福祉協議会が絡みながら、それぞれ専門領域を持つ人たちが連携を深めることでより幅広く対応することが大切。新たな会館にはそのような場となってほしい
- ・実際に会館を利用してもらう人が、こういうスペースだと心地いいだとか、どういう空間を求めているか、具体的に把握して今後の検討を進めていくことも大切